

2017年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	＜町田市立国際版画美術館 版画工房・アトリエの一般開放＞ 町田発 輝くアーティストたち 2017－版画でひらく創作の世界－展				
出展者	版画工房・アトリエの一般開放利用者が有志 70名	担当者名	普及係 渡辺利江		
開催日・時間	2017年6月15日(木)～25日(日) 10:00～17:00 ※最終日16:00まで	場所	市民展示室A,B		
入場方法	会場へ直接来場	入場者対象	どなたでも		
入場者数	実績	定員	市民率	応募者数	当選倍率(受講歴による調整を実施)
	1,090名	—	—	—	—
事業概要	「版画工房・アトリエの一般開放」の利用者による版画展。当館の版画工房、アトリエで制作された版画(木版画、銅版画、リトグラフ、スクリーンプリントほか)を展示。2017年1月から募集を行ない70名が参加、129点を展示した。会期10日間の入場者は1090名であった。 ＜版種別出品作品内訳＞◆木版画12、◆銅版画50、◆リトグラフ31、◆スクリーンプリント28、◆木版リトグラフ8				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	当館の代表的な普及事業のひとつである「版画工房・アトリエの一般開放」の成果を発表する。来場者には、版画のさまざまな表現の可能性を鑑賞してもらうと同時に、町田市を代表する文化施設である国際版画美術館における工房の存在、および当館の特色ある普及活動について知ってもらう。参加者に作品発表の場を提供し、当館工房において精力的な創作活動をおこなってもらうことで美術館に活気を呼び込む。				
主な収入	観覧者…入場無料。 出品者…出品料 ひとり1,000円 × 70名 = 70,000円			その他の特定財源	
				0 円	
事業経費	<p>●印刷製本費 28千円 ＜内訳＞ 案内ハガキ作成(2,000枚) 27,468円</p> <p>●消耗品費 合計:9千円 ＜内訳＞ 印刷用カラーペーパー(募集要項、申込書、チラシ等) (A4版1500枚) 2,500円 印刷用再生紙(出品リスト等) (A3版1500枚) 4,500円 掲示物用OAプリンタ用紙、スチレンパネル、ラミネート 等 2,000円</p> <p style="text-align: right;"><b>合計:37千円</b></p>				
主な広報・取材等	<p>＜広報＞案内ハガキ、案内チラシ、広報まちだ、版画美術館HP、生涯学習ナビ、コンサートガイド、季刊・版画芸術2017夏号</p> <p>＜取材＞読売新聞(多摩版)6月16日号、ショッパ-6月16日号、イツコムチャンネルウェブサイト、東急電鉄ウェブサイト</p>				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率	回答した市外者率	満足度
	129 件	12 %	22 %	78 %	91 %
主なご意見	別紙のとおり。				
反省点と改善方法	予備調査	2016年1月から6月にかけて一般開放を利用した人の数を調査(複数回利用した人も1人とする)したところ、155名の方が利用していた。これを参考に、参加者を50名と想定したが、実際は70名であった。(前回2012年度の開催時は59名111点)			
	参加依頼	参加者がこの展覧会に向けて新たに新作を制作することを鑑み、2016年12月(約半年前)に参加募集の予告を工房に掲示。1月から2月は、料金支払い時に参加案内を手渡した。一方で、この時期に開放の利用が無かった方には声かけができなかった。(個人情報保護のため、自宅宛に案内の郵送ができないため。)			
	準備	前年の11月ごろから、準備を開始した。参加者に会場係の希望日を回答してもらう締切を4月末にしたが、当番決定後の変更希望やキャンセルがほとんど無かったので、キャプションの作成等他の業務が本格化する前の3月末に設定しても良かった。参加者は月数回来館するため、連絡等はその際におこなうことにしたが、想像以上に煩雑だった。全員に対し一斉に郵送したほうが効率的であった。			
	広報	個展やグループ展の広報媒体として広く利用されているカラー印刷のDMを作成し、各方面に送付した。約1500枚は出品者を通じて送付・配布し、広報に協力してもらった。業者の納品が早かったため、余裕をもって多方面に配布できた。 広報課によるプレスリリース(5/25実施)の反響が大きく、リリース後複数のマスコミ各社からの問い合わせを受けた。もうすこし早くプレスリリースをおこなった方が数多くの記事掲載につながった。			
	出品状況	作品の最大サイズを公募展にあわせ、出品しやすいようにしたため、大型作品も多数出品された。搬入、搬出のトラブルは無かったが、利用者の便宜をはかるため今後は業者による代理搬入(搬出)を検討したい。			
	会場設営	出品作品が予想を上回ったため、急遽壁面を増やした。可動壁のレイアウトを工夫し、狭苦しくならないよう努力した。作品同士の間がやや狭く感じられたが、参加者の出品意欲に応えるため作品は全て展示した。アンケートに「照明がもう少し暗くてもよい」という意見があった(1名)。			
	会場運営	会場係2名(出品者)が会場受付をおこなった。会場内の監視(常時2名)を「まちだサポーターズ(町田市ボランティア)」に依頼した。会期中のべ35名が活動した。可動壁で室内を細かく区切ったため監視2名は適切であった。			
その他特記事項	<p>多彩な作品が並び、非常に見ごたえのある展覧会が開催できた。非常に多くの好評をいただいた。出品者70名中39名は前回展(2012年度)にも出品しているが、前回の出品作品よりも内容が充実しており、一般開放事業の継続の効果がみられた。</p> <p>『季刊・版画芸術』、『読売新聞』への掲載により、展覧会への来場に関わらず、当館の版画工房や一般開放事業を多くの方に知っていただくことができた。</p> <p>一般開放事業の成果は利用者数と実施日数のみを公表しているが、そこで制作された作品を実際に公開することにより、「市民に版画制作の機会を提供し、市民による創作活動を活性化させる」というこの事業の趣旨をより深く理解してもらうことが期待できる。</p>				

<町田市立国際版画美術館 版画工房・アトリエの一般開放>

## 町田発 輝くアーティストたち 2017ー版画でひらく創作の世界ー展

2017年6/15(木)~25(日) 会場:町田市立国際版画美術館市民展示室



搬入=6/10(土),11(日) 於:講堂。  
作品の整理やチェック等は出品者も手伝った。



展示作業=6/13(火)、14(水)  
普及係職員で実施。



会場風景



会場風景



会場風景



会場入口(受付)



搬出

# ◆一般開放利用者作品展 アンケート 集計◆

実施日： 2017年6/15(木)～6/25(日)  
6/19(月) 休館  
来場者 1090名 回答数 129名

## 1. この展覧会(講座受講生作品展)を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

①版画美術館のホームページ	12
②「広報まちだ」	5
③町田市メール配信サービス	0
④案内はがき(DM)	14
⑤チラシ	4
⑥来館して知った	68
⑦その他	32
無回答	4

チラシ入手場所： 八王子の美術館(1)、横浜美術館(1)、版画美術館

その他： 読売新聞(1)、twitter@illustration-g(1)、知人が出ているから(1)、  
以前工房で制作していたから(1)、出品しているから(2)、家族(2)、

## 2. 作品展をご覧になった感想をお聞かせください。

① 非常に満足  ② 満足  ③ ふつう  ④ やや不満  ⑤ 不満  ○無回答  計

## 3. 展示内容は良かったと思いますか？

① 非常にそう思う  ② そう思う  ③ ふつう  ④ あまり思わない  ⑤ 思わない  ○無回答  計

## 4. 展示の仕方(作品の並べ方や高さ、掲示物)はご覧になりやすかったですか？

① 非常にそう思う  ② そう思う  ③ ふつう  ④ あまり思わない  ⑤ 思わない  ○無回答  計

## 5. 展示室の環境(明るさ、静けさなど)は良かったと思いますか？

① 非常にそう思う  ② そう思う  ③ ふつう  ④ あまり思わない  ⑤ 思わない  ○無回答  計

## 6. 当館1階に版画工房・アトリエがあるのをご存知でしたか？

① 知っていた  ② 知らなかった  ○ 無回答  計

### 性別

① 男性  ② 女性  ○ 無回答  計

### 年齢

① 10歳代  ② 20歳代  ③ 30歳代  ④ 40歳代  ⑤ 50歳代   
⑥ 60歳代  ⑦ 70歳代  ⑧ 80歳代  ○ 無回答  計

### 居住地

① 町田市内  ② その他  ○ 無回答  計

### その他(94)内訳

横浜市(8) 横浜市青葉区(2) 横浜市緑区(2) 相模原市(13) 川崎市(6) 川崎市麻生区(2)  
川崎市多摩区(1) 大和市(2) 八王子市(1) 稲城市(1) 座間市(1) 厚木市(1) 綾瀬市(1)  
海老名市(3) 伊勢原市(1) 藤沢市(1) 鎌倉市(1) 横須賀市(1) 大磯町(1) 神奈川県(2)  
世田谷区(2) 大田区(3) 品川区(1) 新宿区(1) 中野区(1) 豊島区(2) 板橋区(1) 北区(1)  
台東区(1) 江東区(1) 23区内(2)  
調布市(1) 府中市(1) 国分寺市(2) 三鷹市(1) 福生市(1) 羽村市(1) 東京都(1)  
さいたま市(1) 飯能市(2) 埼玉県白岡市(1)  
柏市(1) 伊東市(1) 札幌市(1) 長崎県(1) 長崎県南島原市(1) London,UK(1) 未記入(9)

## 感想、意見など

### ●多かった意見

- ・ 色々な手法があり、感じもそれぞれ全く違うことに驚いた。
- ・ 製作者の熱意を感じた。
- ・ 力作ぞろいだった。
- ・ 品数、内容共にとても見ごたえがあった。
- ・ 作品の質の高さに驚いた。
- ・ 授業で習った方法をつかった作品もあり、これからの授業の参考になるなど感じた。

### ◆展示方法について

- ・ 制作年がわかるとよかった。
- ・ 展示室の照明をもう少し光を落とすほうが、作品が引き立つように感じた。
- ・ 作者のコメントがあると素人にはわかりやすい。作者の思いを知りたい。
- ・ 作家さんそれぞれの作品に対するコメントなどがあると、よりうれしい。
- ・ 名前のプレートに作者さんからのコメント欄や、一言作品についての欄があってもよい。初日か最終日に、ギャラリートーク(数人の作家による)があっても面白いと思う。
- ・ 作者さんの話が聞ければ尚良かったなと感じます。
- ・ 素人なので版画のやり方がわかると もっと楽しめたと思います。
- ・ こうして作るみたいな簡単な説明があると、もっと興味深くみる事ができた。
- ・ 木版が少ない。
- ・ 最近「木版画」が少なくなり、作家も減少なのではないでしょうか。これからは是非、多くを取り上げて欲しい。
- ・ 毎年あっても良いかもしれない。
- ・ アトリエを利用する者達の励みにもなるので、2年か3年に1度の割合であると良いと思う。
- ・ 版画工房利用以外にも出品者を一般公募する企画展(たとえば小品展)などがあればいいと思います。
- ・ 少し展示が、ゆったり感に欠ける。
- ・ 出品リストと現物との対比を簡単にしてほしい(現物をリストから探すのが時間がかかるから)。
- ・ 展示を内容に踏み込んで、分別・区分して並べたほうがよいのではないか。具象的なものとか、抽象的なものとか、大きいものとか、小さいものとか 分けたほうが見やすいかな。

### ◆その他

- ・ これだけ恵まれた工房は他にはないと思う。版画作家が生まれますよう、版画制作の環境を大勢の方に知ってもらいたい。

### ◆気になった作品

- ・ 葉師寺令「宵が終わる時」、大前美登利「Vicissifude I、II」が気に入った。
- ・ 12番の植野智子さんの作品、とても素敵だなと思った。
- ・ 82はスカーフにすると、素敵だと思った。116の貴は、部屋のどこかに置くとよいと思った。
- ・ N0125、32、119、50、84、102、9、16、20、99、11、106が個人的に好みだった。
- ・ 西山彰さんの作品がおもしろかったです。もっとみてみたいと思いました。
- ・ ”魚わらわら” ”光2”の2作品が特に素敵でした。
- ・ 望月さんよかったよ。
- ・ 100笠井直美 Growing I : 独創的な図案と構成がよい。51川瀬雅子 記憶のあや : 1級品の作品に仕上がっている。
- ・ 69橘良子 RevolutionIV : モノトーンの素晴らしさと意識がみえる。36飯嶋真子 The window of hopeIV : スクリーンの色使いとアバンギャルドの表現。
- ・ 22今村園子 挑戦少年-V : 波の白と青とグレーの色彩。53中野年 朱雀(1) : 極彩色をリトグラフで表現している、すごい。
- ・ 97川窪裕子 miniTOMATOのアレンジ : 紫色の緋色が黄色のトマトをみせている。
- ・ 田中ユキさんの作品がヨーロッパを感じた。
- ・ 池田由紀子さんの作品に特に感動した。